

# ハナムギ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地栽培									○ ⇔ ○			

## 特性と品種

### ○特性

ハナムギは穂の形と鮮やかな葉の緑が売りもので12～2月にかけての早春に、生け花の材料として利用されています。

乾燥に強く、加湿に弱いので水はけの良いところで育てましょう。

酸性土壌に弱いので、石灰等を施し栽培しましょう。

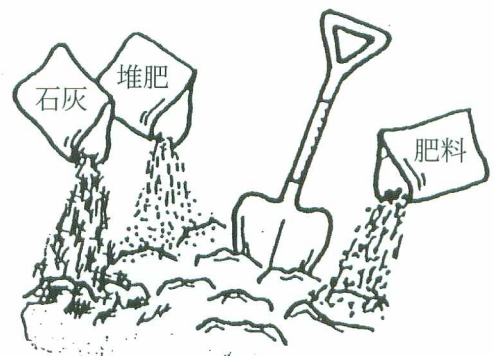
### ○品種

食用に栽培されているオオムギと同じです。

オオムギは冬の寒さに遭わないと穂が出ない品種（晩生種）と、寒さに遭わなくても穂が出る品種（早生種）がありますが、ハナムギとしては、主に早生種（寒咲早生麦、笹の雪等）が用いられています。

## 種まきの準備

種まきの2週間前に石灰、堆肥、化成肥料を施してよく耕し、うね幅120cmのうねをつくります。



堆肥、肥料、石灰を入れて耕す

## 種まき

2条に筋播きします。は種後、1～2cm土をかぶせます。

種は1aあたり3～4dl必要です。



発芽適温： 24～26℃

発芽まで日数： 7～10日

## 管 理

○除草と倒伏防止をかねて、土寄せをします。

○追肥

1回目の追肥は、肥料がきれてきた10月中旬から11月下旬に行います。

(この時期は穂が分化し始める頃です。)

肥料がきれてくると、葉の色が黄色くなります。葉の色を観察しましょう。

☆肥料を多くやりすぎると、花芽分化が遅れます。

2回目の追肥は、穂が出てから行います。

☆3回目以降の追肥は生育の状態をみながら与えましょう。

## 採 花

穂が出ると、順次刈り取ります。

## コメ ント

○ドライフラワーにする場合は、完全に穂が出て開花したものを刈り取り、風通しのよい軒下などで乾かします。

○オオムギは、ビールやウイスキー、麦茶、味噌、しょう油などの原料となります。

